

2025年に自然文化誌研究会は『創設50周年』になります

自然文化誌研究会 事務局長 黒澤友彦

「50周年って何の話か？」

実は来年、自然文化誌研究会は創設50周年の節目の年を迎えます。これまでも15周年、20周年、30周年、40周年と記念事業を行ってきました。50周年を超えるとこれ以上の節目の周年って100周年になってしまう・・・100周年って誰が生きているんじゃない、今ならまだまだ創設期の人達も元気なので、本会の運営委員会にて2025年に「50周年記念（企画）」の開催を決定しました。開催は2025年10月。ここまでは決まっています。会場は本会の発足した東京学芸大学で開催するか、現在の拠点である小菅村で開催するか、zoomを使ってオンラインで開催するか、記念誌を発行するのか、探検隊を出すのか・・・これから50周年の企画委員？実行委員？を決めて話を進めていく予定です。

「自然文化誌研究会」の歴史

1975年に東京学芸大学にて木俣美樹男氏が「自然文化誌研究会（学大探検部）」を創設。1981年に同じく東京学芸大学にて塚原東吾氏が「冒険探検部」を創設。1985年にその2つが合併して「自然文化誌研究会冒険探検部」となった。1988年より東京学芸大学の公開講座「子どものための冒険学校」を運営。現在の「こすげ冒険学校」、「ちえのわ農学校」に継承されている。「自然文化誌研究会」は2004年に東京都の認証を受けて「NPO法人自然文化誌研究会」となる。ちょうどその頃に、活動のフィールドを現在の小菅村とし、小菅村での活動も20年が経過。一方、「冒険探検部（東京学芸大学のサークル）」についてはコロナ禍のタイミングで最後の部員が卒業し、部室も無くなり、終わってしまったのか、消滅なのか・・・？

「小菅村での20年の動き（くろさわの個人視点）」

事務局の私は現在47歳。ウチの会に関わったのは1996年、東京学芸大学1回生の19歳。事務局長になったのは大学卒業の24歳（ウチの会は事務局が1人なので最初から事務局長）。東京学芸大学の農園（現環境教育研究センター）で農夫と掛け持ち勤務を経て小菅村に移住したのが26歳。事務局長は4代目で、木俣美樹男さん→岩谷美苗さん（現在 樹木医）→小川泰彦さんから引き継ぎました。

2004年、小菅村で古民家を借りて自然文化誌研究会の拠点としました。井村礼恵さん（あべちゃん）から、小菅村の人達を紹介してもらい、本会の事務局給与的に副業は必須なので「木下養魚場」を紹介してもらい、今も2足の草鞋で生業としています。途中、事業拡大を目指し、事務局も2人体制で菱井優介さん（ひっしー）と古民家で共同生活もしていました。いつものキャンプ場（現清水バンガロー）に若狭浩二さんをはじめとしたログビルダー達とログハウスを建てました。当初は小菅村の森林資源を活かすということも意図した「ログビルダー養成講座」でした。会員のみなさんがキャンプ場に泊まれるようになったので、そのタイミングで古民家は返却し、キャンプ場と「植物と人々の博物館（ホームページあります）」が、小菅村内での拠点となっています。ログハウスはキャンプ場に2棟+トイレ棟、そして我が家も建ててもらいました。「こすげ冒険学校」は今年で18年目の開催となりました。

植物と人々の博物館では、「エコミュージアム日本村構想」、「雑穀の普及啓発事業」、「FAO世界農業遺産の申請に向けて」、小菅村の民具を整理して公民館機能との併設など、多くの事業を小菅村と協力体制で展開。小菅村と東京学芸大学は現在も「社会連携協定」を継続しています。

コロナ禍のあたりで子どもが生まれたので、冒険学校の本番は現場から外れて、子守りと養魚場勤務を優先しながら事務局として対応しています。この文章を書いているちょうど今、妻と息子は本会主催の「タイ環境学習キャンプ」に参加していてバンコクに無事到着したというLINEが入りました。という事で、本会と小菅村にどっぷりと浸かりながら生きています。

「最近の小菅村」

以前は会報ナマステで小菅村の事を連載していたが、最近は寄稿を頼む癖が・・・（今回はバタバタして寄稿依頼を逃し、1ページ急いで埋めなくちゃいけないから自分で書いてます。前回は、はるちゃんに「たのしい村暮らし」をかいてもらった・・・）

たまには小菅村の話を。現在の人口は620人、20年前は1,000人居たぞ。既に過疎で「限界集落」なのか。保育所の年長クラスは0人。小菅小学校初の入学式無しが4月に迫っている。6月の村長選挙は投票率95.36%の296票で現職が当選、1票が重い！20年前はクーラーある家はまれだったが、今は標準となってきた（我が家も使っている）。今年はクマの被害が多い、サルも収穫しようと思う前夜にトウモロコシを100本獲られた話も聞いた。小菅の湯は「こすげ冒険学校」の最中に30周年を迎えていた。